

令和3年度 障がい者福祉活動サポート交付金【社会参加活動】 交付決定事業者等一覧

■ 交付限度額：100,000円

	法人名	事業者名等	活動内容	交付決定額
1	(福)県央福祉会	いからしの里・いからし工房	<p>いからしの里・いからし工房合同ふれあい感謝祭(仮称) 実施予定：令和3年11月3日(水)(5回目)</p> <p>地域住民、利用者の家族、関係者等への日頃の感謝を込めて開催し、気軽に参加できる地域に根付いたイベントを目指す。また、事前準備の段階から利用者に参加してもらい、展示作品制作や会場準備の手伝い等を通して張り合いある生活を送っていただくとともに、当日来場者を迎える喜びを感じてもらおう。利用者が外部の方と触れ合う貴重な機会として、利用者が多くの方と関わることで生きがいや喜びにつながるよう努める。</p> <p>(目標来場者500人)</p> <p>施設利用者によるステージ発表、近隣保育園児による遊戯発表、模擬店、自主製品・野菜販売、活動紹介のパネル展示、子供ゲームコーナー等を行う。</p> <p>ポスター等作成費、模擬店等に係る消耗品費、活動紹介用の写真パネル作成費等に活用。</p>	<p>200,000円 (内訳)</p> <ul style="list-style-type: none"> いからしの里 100,000円 いからし工房 100,000円
2	(福)県央福祉会	・長久の家 ・地域活動支援センター長久	<p>花いっぱい活動 実施予定：令和3年4月～令和4年3月(9回目)</p> <p>グループホーム居住者と近隣住民・ボランティアと一緒に花苗を植えることでグループホームを知ってもらい、より一層障がい者への理解を深めてもらう。また、プランター管理や清掃活動を通じて、障がい者自身の社会参加、社会貢献の意識を高めることができる。</p> <p>近隣住民などの参加予約を募り、新しい生活様式を実践しながら少人数又は回数を分け、利用者とともに花苗の寄せ植えを行い、交流を図る。</p> <p>(利用者参加目標51人、地域住民参加目標26人)</p> <p>プランター、培養土、花の苗等の購入費、参加賞等に活用</p>	<p>200,000円 (内訳)</p> <ul style="list-style-type: none"> 長久の家 100,000円 地域活動支援センター長久 100,000円

	法人名	事業者名等	活動内容		交付決定額
3	(福) 県央福祉会	杉の子工房	地域住民に向けた自主製品販売会 実施予定：令和3年4月～令和4年1月（1回目）	<p>これまで実施してきた収穫祭は新型コロナウイルス感染症拡大防止が難しいため中止した。しかし、地域の方とのふれあいの場を通し、事業所への理解を深めていただく機会や工賃向上につなげる機会がもてないかと考え、隣接するガーデンのぞみで自主製品等の販売会を開催した。コロナ禍でも可能な近隣住民との大切な交流の機会として実施する。</p> <p>専用販売台を設置することで会場準備の簡略化を図る。また、のぼり旗や黒板看板の設置、チラシ配布などで販売会の周知を行う。会場に事業所紹介のパネルを展示し、来場者から事業所の活動への理解を深めていただく。売上目標 1回当たり5万円 目標来場者数 1回当たり80人 商品紹介の作成費、模擬店等に係る経費等に活用</p>	100,000円
5	(福) 青空福祉会	相談支援センター青空	第11回精神保健福祉フォーラム 実施予定：令和3年9月4日(土)（7回目）	<p>全市民を対象に、精神疾患（統合失調症等）当事者でピアサポーターとして活動している方達から、体験談を踏まえ病気と向き合いながら社会生活を送ることについて講演していただく。午後は精神障がいを抱える利用者発表を通して、様々な立場からディスカッションし、障がいの持つ強みや良さを知ってもらう。</p> <p>精神障がいに対する偏見や差別の解消に繋げ、精神障がいを抱える人達が進行係や受付係等に携わることで、本人達の達成感を得る。また、発表に出演することで自信を持って生きていくことへの底力となる。（目標来場者200人）</p> <p>ポスター及びチラシ作成費、当日資料に係る消耗品費、講師謝礼金、会場使用料等に活用。</p>	200,000円 ※本活動は、精神障がい啓発活動に関するものであることから上限200,000円
交付決定事業者（社会参加活動）6事業者					総額 700,000円

令和3年度 障がい者福祉活動サポート交付金【自立支援活動】 交付決定事業者等一覧

■ 交付限度額：500,000円

	法人名	事業者名等	活動内容	交付決定額	
1	(福) 県央福祉会	いからし工房	安定供給した野菜販売活動 実施予定：令和3年4月1日～令和4年3月31日	過去5回に渡り農作業でのサポート交付金を受け、年々農業項目での工賃アップを図ることができている。近年、野菜の売れ行きが上がり、農作業活動の効率化を図るべく、今回畑造成工事と設備整備をする運びとなった。耕地面積を増やすことで売り上げアップを目指すとともに作業量も増えるため利用者の作業意欲の向上が見込まれます。また農業実績を上げることで地域との親交を深め、利用者一人一人の更なる工賃アップが図れる。	500,000円
2	(福) 県央福祉会	杉の子工房	菓子製造販売による工賃向上 実施予定：令和3年4月1日～令和4年3月31日	令和2年度はコロナ禍でバザー関係の行事が全て中止となった。コロナ禍では販路拡大は見込めないため、常時販売可能とする方法として、自動販売で菓子や農作物を販売し、売上増を目指す。販売会と違い無人であることから、時間に囚われず新たな層の顧客の開拓につながると思われる。利用者が商品の入れ替えや自動販売機の管理に携わることは新たな仕事であり、外出の機会にもなるため、社会性、作業意欲、工賃の向上につなげたい。 売上目標 菓子製造90万、農作物販売10万円 自動販売機の購入及び広告料に活用	500,000円
3	(福) 三条市手をつなぐ育成会	障がい福祉サービス事業すてっぷ	作業幅拡大のための紙計数機購入 実施予定：令和3年6月1日～令和4年9月30日	現在、チラシ封入作業を実施している。その為に、毎月10種類以上のチラシが2,400枚ずつ届く。現状、作業前に毎回職員が届いたチラシを100枚ずつ数え、利用者が行う作業工程に進んでいる。 予てより、100枚ずつ数える工程を利用者ができると作業幅が拡大するなど効果があると考えていた。紙計数機を購入し活用することでそれが実現し、作業幅の拡大とともに、効率化の実現が期待される。また、新しい作業という刺激により作業意欲向上につながる。	500,000円

	法人名	事業者名等	活動内容		交付決定額
4	(福)青空福祉会	きずな工房	1周年祭等のイベントと販売促進 実施予定：令和3年4月1日～令和4年3月31日	<p>「Café りあん」の1周年祭などのイベント時に、冷蔵ショーケースに並べ来客者から商品が見えるようにして、来客者数を伸ばし工賃アップを図る。</p> <p>地域で販売や喫茶を行うことで、接客や販売員としての訓練を通じ、働くイメージや就労訓練の場とする。また、地域の方とコミュニケーションをとることができ、障がいへの理解と利用者の自信につながっていく。</p> <p>高湿ディスプレイケースの購入、イベント費用（ポスター・チラシ印刷、来場者プレゼント、油性マジックなど）に活用</p>	431,000円
交付決定事業者（自立支援活動） 4事業者					総額 1,931,000円